

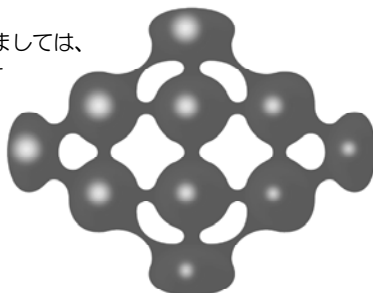
取扱説明書

告知放送端末

AFM-400

AFM-410

- (1) 本書の内容の一部又は全部を無断で転載することは、固くお断りします。
- (2) 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、記入もれなどのお気付きの点がございましたら、ご加入のCATV局または放送センターへご遠慮なくお申しつけください。
- (3) 本書の内容を適用した結果の影響につきましては、
(2) 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (4) 本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。



SYNCLAYER
MAKING POTENTIAL A REALITY

安全上のご注意

使用前に必ず、この「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

絵表示について

この「取扱説明書」及び製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告又は注意）が描かれています。



















○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な内容（左図の場合はACアダプターをコンセントから抜く）が描かれています。

警告

 	万一、煙が出ている、変なにおいがする、異常な音がするなどの異常状態のまま使用しますと、火災・感電の原因となります。すぐにACアダプターをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、ご加入のCATV局または放送センターに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。
 	万一、本機の内部に異物が入った場合は、ACアダプターをコンセントから抜いてから、ご加入のCATV局または放送センターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。（特にお客様のいるご家庭ではご注意ください。）
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり（熱器具に近づけたり）、引っぱったりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）ご加入のCATV局または放送センターに交換をご依頼ください。そのままご使用になると火災・感電の原因となります。
	本機に水が入ったり、本機がぬれたりしないようご注意ください。風呂場で使用したり、本機の上に薬品や水などの入った容器を置いたりしないでください。水や薬品が中に入った場合、火災・感電の原因となります。
	雷が鳴り出したらケーブル類、機器には触れないでください。感電の原因となります。
	本機のカバーは絶対にはずさないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・調整・修理はご加入のCATV局または放送センターご連絡ください。
	本機を改造したりしないでください。また、本機の内部には触れないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理はご加入のCATV局または放送センターにご連絡ください。

	表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因になります。
	本機を使用できるのは日本国内のみです。
	乾電池は、充電しないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となります。
	ペットなどの生物が本機の上に乗らないようご注意ください。排泄物や体毛が中に入った場合、火災・感電の原因となります。
	ぐらついた台の上や、傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたりしてけがの原因となります。
 	万一、本機を落としたり、破損した場合は、ACアダプターをコンセントから抜いてご加入のCATV局または放送センターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

	湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所（調理台や加湿器のそば）に置かないでください。また、振動のある場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
	本機に乗らないでください。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れたりして怪我の原因となることがあります。
	本機の上に物を置かないでください。本機が変形し、火災・感電の原因となることがあります。
	直射日光の当たる所や、湿度の高い所（締め切った自動車内など）に置かないでください。内部の温度が上がリ、火災の原因となることがあります。
	ACアダプターを抜くときは、必ずACアダプターを持って抜いてください。電源コードを引げるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	ぬれた手でACアダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
	移動させる場合は、必ずACアダプターをコンセントから抜いて外部との接続コード（同軸ケーブルなど）をはずしたことを確認のうえ行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	お手入れの際は安全のためACアダプターをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。
	旅行などで長期間本機をご使用にならないときは、安全のため必ずACアダプターをコンセントから抜いて、乾電池を取り出してください。電池から液が漏れて火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。もし液が漏れた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。また、万一漏れた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。
	新しい乾電池と古い乾電池や、種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。乾電池の破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
	乾電池を機器内に挿入する場合、極性表示（プラス+とマイナス-の向き）に注意し、表示通りに入れてください。間違えると乾電池の破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
	乾電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。乾電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となることがあります。
	本機の上に他の機器を載せたり、本機を他の機器の上に載せないでください。他の機器の発熱によって本機内部の温度が上がリ、故障の原因になることがあります。
	本機の取付工事には専門の技術と経験が必要ですので、ご加入のCATV局または放送センターにご相談ください。

使用上のお願い

お手入れの際には、ベンジン、アルコール、シンナーなどは使わないでください。印刷文字がはげたり、ケースが変質することがあります。お手入れは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

目次

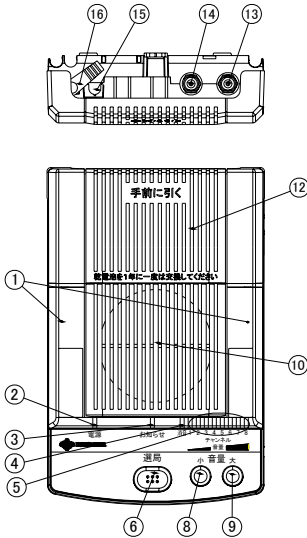
第1章 各部の名称と機能	1
(1) 名称と機能	1
第2章 設置と接続	2
(1) 設置場所の注意	2
(2) 設置方法	2
(3) 設置上の注意	2
(4) 壁掛け設置方法	3
(5) CATVネットワークとの接続	4
(6) ACアダプターの接続	4
(7) 平置き設置時のケーブル配線方法	4
(8) 壁掛け設置時のケーブル配線方法	4
第3章 使用方法	5
(1) 接続の確認	5
(2) 本機の電源を入れる	5
(3) ランプの確認	5
(4) 乾電池のセット	5
(5) 告知放送の受信	6
(6) 音量の調節	6
(7) FMラジオ放送の受信1 (CATV FM放送)	7
(8) FMラジオ放送の受信2 (地上波FM放送)	7
(9) 放送の再生 (AFM-410のみ)	8
(10) SP端子の接続	8
第4章 トラブルシューティング (故障かな?・・・の前に)	9
(1) 電源ランプが点灯しない	9
(2) 受信できない	9
(3) FM放送が選局できない	9
(4) 再生できない	9
(5) ランプの表示がおかしい	9
第5章 仕様	10
(1) 製品仕様	10
(2) 付属品	10

(3) 別売品	10
(4) 外形図	11

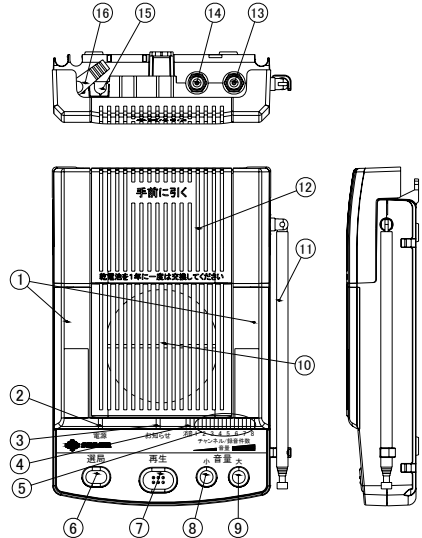
第1章 各部の名称と機能

(1) 名称と機能

● AFM-400



● AFM-410



番号	名称	機能
①	緊急ランプ	緊急放送の受信を表示する橙色の大型ランプです。放送中に点滅します。
②	電源ランプ	本機の電源状態を表示する緑色のランプです。乾電池の容量が低下すると点滅します。
③	お知らせランプ	告知放送の受信を表示する黄色のランプです。受信中に点灯します。録音した未再生の放送があると点滅します。(録音機能はAFM-410のみ)
④	消音ランプ	消音のとき点灯する黄色のランプです。
⑤	1~8ランプ	ボタン操作をしたときの表示用の緑色のランプです。音量・FM放送選局チャンネル・録音再生件番を表示します。
⑥	選局ボタン	FM放送を選局できます。押すごとに順次選局します。
⑦	再生ボタン	録音した放送を再生します。押すごとに順次再生します。5秒以上押し続けると録音内容をすべて消去します。(AFM-410のみ)
⑧	音量小ボタン	音量を調節できます。音量を下げ続けると消音になります。
⑨	音量大ボタン	
⑩	スピーカー	音声を出力します。
⑪	アンテナ	CATVネットワークがケーブル断線などで接続されていないとき、地上波FM放送を受信するために伸ばして使用します。(AFM-410のみ)
⑫	電池カバー	電池カバーを取りはずし停電時動作の乾電池(単三形)をセットします。
⑬	CATV IN端子	CATVネットワークと接続するためのF形接栓座です。CATVネットワークからの同軸ケーブルを接続します。
⑭	CATV OUT端子	CATVネットワークの入力をさらに外部出力するためのF形接栓座です。使用しないときは75オームのダミー抵抗を接続します。(AFM-4□□CモデルにCATV OUT端子はありません)
⑮	SP端子	外部スピーカー接続用の出力端子です。(告知放送はモノラル専用ですが、FM放送はステレオ出力に対応しています)
⑯	DC9V IN端子	付属のACアダプターの電源プラグを接続します。

第2章 設置と接続

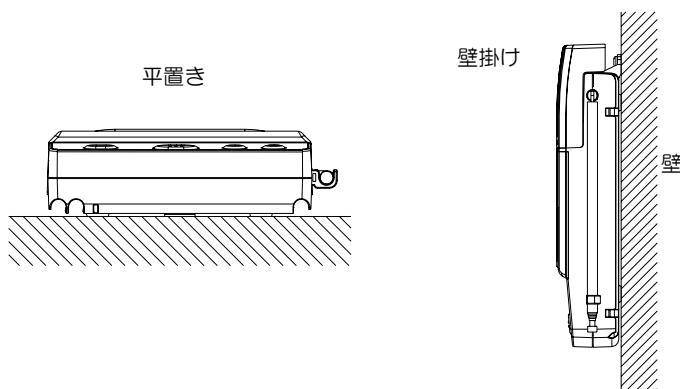
本機は屋内専用の電子機器です。設置の際は以下の点に注意してください。

(1) 設置場所の注意

- 極端な高温や低温の場所での使用は避けてください。
- 衝撃や連続的な振動の加わる場所は避けてください。
- 直射日光の当たる場所には設置しないでください。また、湿度の高い場所やほこりの多い場所は避けてください。
- 腐食性環境（有害ガス）等での使用は避けてください。
- 水がかかったり、薬品に触れるおそれのある場所は避けてください。
- 電源は交流100ボルト50/60ヘルツの商用コンセントを使用し、タコ足配線は避けてください。

(2) 設置方法

- 本機は平置き・壁掛けの設置が可能です。
- 通常使用ではアンテナを伸ばす必要はありません。



(3) 設置上の注意

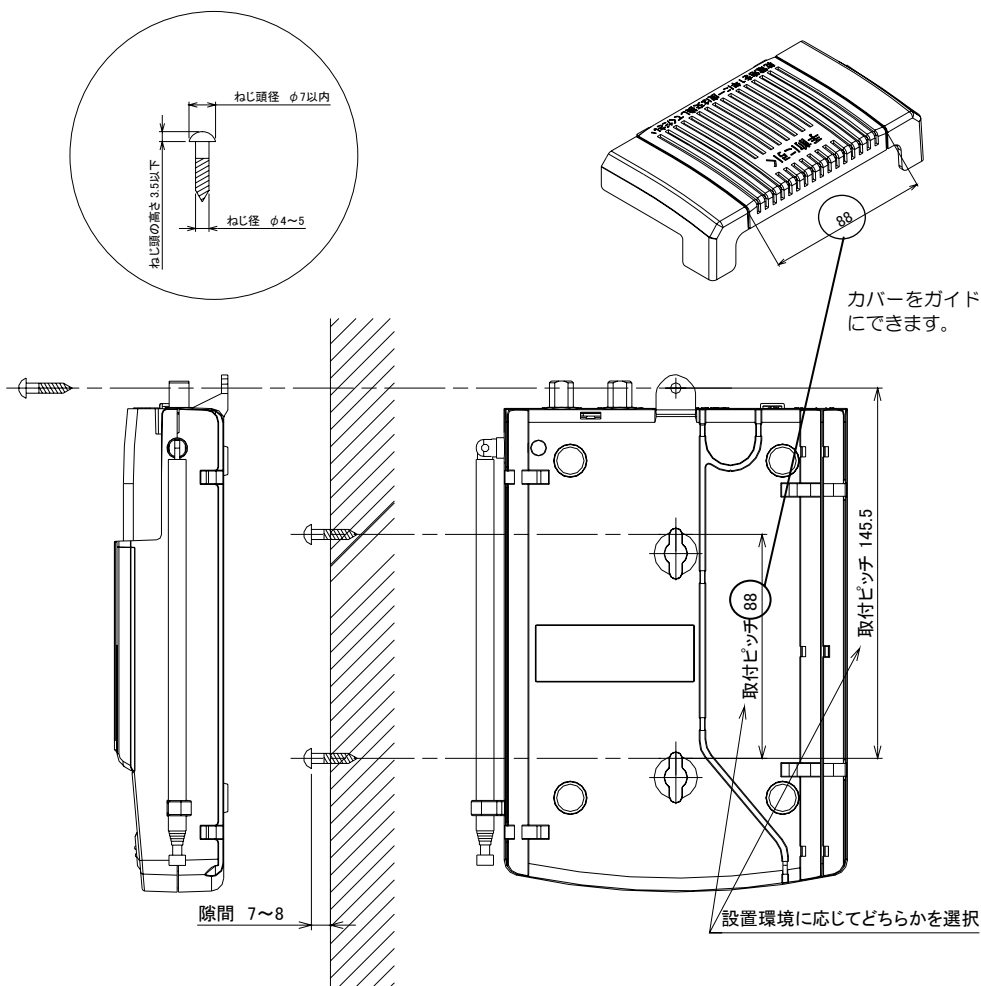
- ぐらついた台の上など、不安定な場所に設置しないでください。
- 本機の上に物を載せないでください。
- スピーカー穴をふさがないでください。
- テレビ、パソコン等のディスプレイ機器に本機を近づけると、画面のゆがみ、色ずれをおこすことがあります。そのような症状を確認したら本機をディスプレイ機器から遠ざけてください。
- 誤作動の原因となりますので、携帯電話・PDA等の電波を発する機器からは遠ざけてください。

⚠注意

- コネクターの過度の締め付けは機器を破損する恐れがありますのでご注意ください。
- 本機と各ケーブルとの接続は、必ずACアダプターをコンセントから抜くとともに乾電池をはずした状態で行ってください。また一度設置した後は各ケーブルをむやみに取りはずしたり、設置場所を移動したりしないでください。

(4) 壁掛け設置方法

- 本機を壁掛け設置する場合には、下図寸法に従って取り付けください。
- 使用するねじは、ねじ頭径7ミリ以下、ねじ径4～5ミリです。
(壁面からの隙間が少ないと固定できませんので注意してください)



(単位：mm)

- 本機は十分な強度ならびに、使用するねじ深さのある壁面への設置をお願いします。
- 同軸ケーブルや電源ケーブルの自重が加わらないように適宜ケーブル類を固定してください。

(5) CATVネットワークとの接続

- CATV IN端子にCATVネットワークからの同軸ケーブルを接続します。同軸ケーブルのF形接座のピンがCATV IN端子の中心にくるよう静かに挿入し、 $2\text{N}\cdot\text{m}(20\text{kgf}\cdot\text{cm})$ 以下のトルクで時計回りに締め付けてください。
- 本機の後ろにテレビもしくは、セットトップボックス (STB)などを接続する場合には、CATV OUT端子をご使用ください。また、CATV OUT端子をご使用にならない場合は、75オームのダミー抵抗を接続してください。

(6) ACアダプターの接続

- 付属のACアダプターの電源プラグをDC9V IN端子に接続します。
- ACアダプターの本体プラグを商用コンセントに挿します。

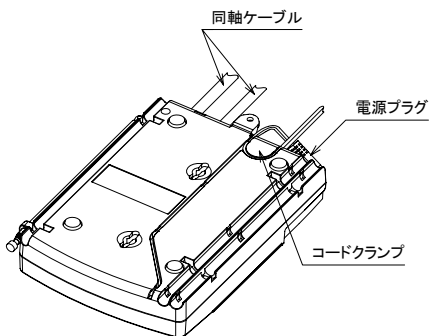


警告

付属のACアダプター以外は絶対に使用しないでください。機器の破損、火災などの原因となります。

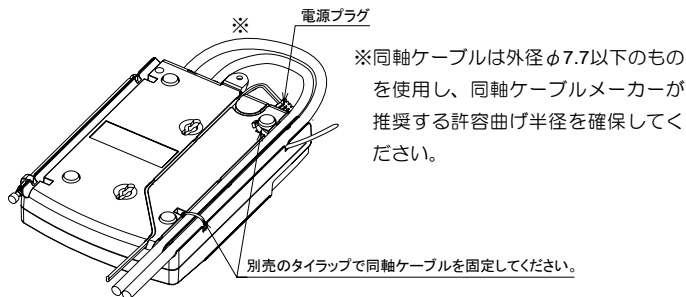
(7) 平置き設置時のケーブル配線方法

- 電源プラグの抜け防止のため、図のようにコードクランプに巻きつけてください。



(8) 壁掛け設置時のケーブル配線方法

- 図のように、同軸ケーブルおよび電源ケーブルを本機の裏側の溝に通します。同軸ケーブルは必要に応じて別売のタイラップで2ヶ所固定します。



第3章 使用方法

ここでは一般的な「告知放送サービス」における加入者宅での使用方法を説明します。

(1) 接続の確認

- 第2章「設置と接続」で示した接続が正しくされているか確認してください。

(2) 本機の電源を入れる

- ACアダプターの本体プラグを商用コンセントに挿します。

(3) ランプの確認

- 電源ランプが点滅しているのを確認してください。点滅状態にあるのは乾電池がセットされていないためです。
- 電源ランプ以外のランプの表示を確認します。電源を入れた直後の状態は、他のランプの表示はありません。→第4章(5)ランプの表示がおかしい参照

(4) 乾電池のセット

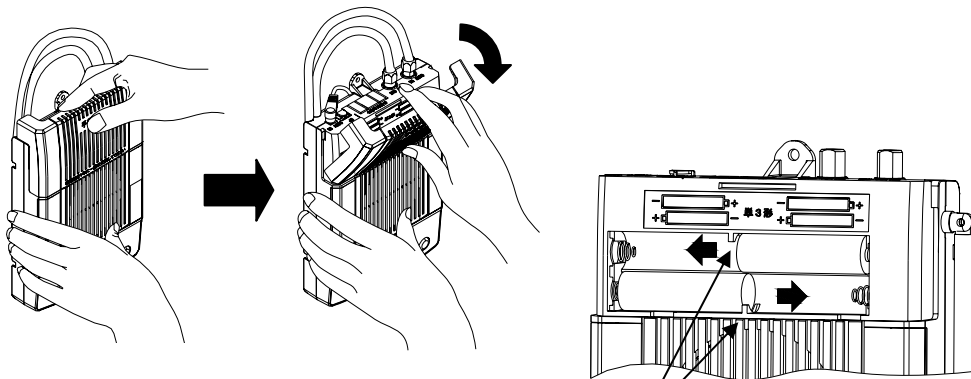
- 電池カバーをはずして、単三形乾電池4本を極性に注意してセットしてください。
※乾電池が飛び出さないよう、乾電池押さえ突き出し部をスライドさせながらセットしてください。
- 電源ランプが点滅が止まり、点灯するのを確認してください。
- 電池カバーを閉じます。
- 乾電池の交換のときも同様に行います。

メモ

乾電池の交換

- 使用方法にもよりますが、停電状態がなくても乾電池の寿命は約1年です。電池の容量が低下して電源ランプが点滅しなくても1年に1度は交換してください。
- 乾電池を交換する時は4本とも同種類の新品の乾電池に交換してください。
- 交換をしないと液漏れにより機器が破損する恐れがあります。

電池カバーのはずし方



乾電池押さえ突き出し部
乾電池を矢印の方向に
スライドさせセットします。

⚠注意

- 機器本体を押さえながら電池カバーをはずしてください。機器の破損及び壁面が破損する恐れがあります。
- 乾電池の極性を間違えると機器を破損する恐れがありますのでご注意ください。
- 乾電池は市販のマンガン電池、アルカリ電池をご使用ください。充電電池は使用できません。新しい乾電池と古い乾電池や、種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。乾電池の破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 乾電池は停電時のバックアップ用です。設置場所の移動など一時的にコンセントから抜く場合は、乾電池の消耗を防ぐため乾電池をはずしてください。
- 電池カバーをはずした場所に設定用のスイッチがありますが、絶対に触らないでください。このスイッチは指定の工事業者により設定いたします。設定を変更すると放送が受信できなくなります。

(5) 告知放送の受信

- 放送センターからの告知放送は緊急放送と一般放送があります。告知放送が行われると、告知ランプが点灯してスピーカーから音声が流れます。
- 緊急放送は大型の緊急ランプが点滅し最大音量で流れます。（緊急放送開始から最大音量で流れますが音量調節は可能です）

(6) 音量の調節

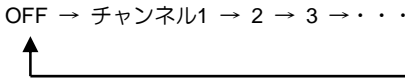
- スピーカーから流れる音声の音量を調節できます。
- 音量大ボタンまたは音量小ボタンを押して、適当な音量に調節してください。
- 音量ボタンを押すごとにピー音が鳴り音量の目安がわかります。また、1～8ランプに現在の音量を表示します。音量は16段階で変わりますが、1～8ランプは8段階で表示します。
- 音量小ボタンを押し続けると消音ランプが点灯し音量を消すことができます。（消音ON）音量大ボタン押しすと消音ランプは消灯します。（消音OFF）
- 消音ONの状態で緊急放送が開始されたとき、自動的に消音OFFとなり最大音量で放送が流れます。（一般放送のときは消音ONのままです）

⚠注意

過度の力でボタンを押すと破損する恐れがありますのでご注意ください。

(7) FMラジオ放送の受信1 (CATV FM放送)

- 告知放送を行っていないときに、FMラジオ放送を聴くことができます。
- 選局ボタンを押すごとに選局チャンネルが切り替わり、1～8ランプでチャンネルを表示します。



メモ

放送局名・放送チャンネル数は、放送センターにより異なります。ご加入のCATV局または放送センターへお問い合わせください。

- FMラジオ放送を聴いているときに告知放送が行われた場合、自動的に告知放送に切り替わり、告知放送終了後、FMラジオ放送の受信に戻ります。

(8) FMラジオ放送の受信2 (地上波FM放送)

- CATVネットワークのケーブルが断線事故などにより接続されていないとき、地上波FM放送を聴くことができます。
- CATVネットワークのケーブルが断線事故などにより未接続となった場合、告知ランプが点滅になり地上波FM放送が受信可能であることを知らせます。
- CATV FM放送のときと同様に選局ボタンを押すごとに選局チャンネルが切り替わり、1～8ランプでチャンネルを表示します。

メモ

ご使用地域の地上波FM放送の受信感度により、受信できる放送が異なります。ご加入のCATV局または放送センターへお問い合わせください。

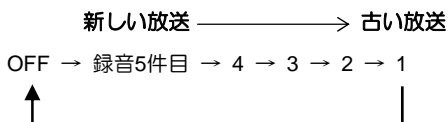
- アンテナを伸ばすと受信感度が上がります。
- アンテナは通常（CATVネットワークのケーブルが接続されているとき）は使用しませんので、地上波FM放送を聴くとき以外は収納してください。

⚠注意

過度の力でアンテナを動かしたり、アンテナを持って本機を持ち運んだりすると破損する恐れがありますのでご注意ください。

(9) 放送の再生 (AFM-410のみ)

- 本機は告知放送を常時録音しています。未再生の放送があるときは告知ランプがゆっくり点滅します。
- 録音時間は最大で約10分です。
- 放送1件あたりの録音時間は約3分、もしくは約2分です。(仕様により異なります) それ以上の放送は録音しません。
- 3件もしくは5件を超えた録音の場合は、一番古い放送から順に消去、新しい放送を録音します。
- 再生ボタンを押すと録音されている放送の一番新しいものから順次再生します。また、再生中にボタンを押すと次の放送へスキップします。一番古い放送の再生中にボタンを押すと再生を終了します。



メモ

録音件数は放送センターにより異なる場合があります。ご加入のCATV局または放送センターへお問い合わせください。

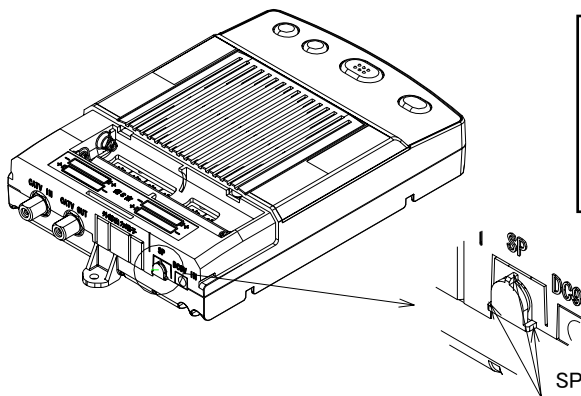
- 再生中、録音の総件数と再生している件番を1~3ランプ、もしくは1~5ランプで表示します。
- 再生ボタンを5秒以上押し続けると、ピー音が鳴り録音内容をすべて消去します。
- 乾電池を抜き、電源プラグを抜いても録音内容は消去されません。
- 再生中に告知放送が行われた場合、再生を中断して告知放送を受信します。
- 告知放送の受信中に再生はできませんが、FMラジオ放送受信中は再生することができます。

注意

過度の力でボタンを押すと破損する恐れがありますのでご注意ください。

(10) SP端子の接続

- SP端子を使用する場合は、ニッパなどの工具を使用してSP端子カバーを切り取ります。



メモ

SP端子はライン出力のため、直接スピーカーを接続することはできません。オーディオアンプなどを介するか、またはアンプ機能付きのスピーカーを接続してください。

SP端子カバーを根元からニッパ等で切り取る

第4章 トラブルシューティング (故障かな?・・・の前に)

修理を依頼される前に、もう一度確認してください。

(1) 電源ランプが点灯しない

- ACアダプターは確実に接続されていますか。

(2) 受信できない

- CATVネットワークからのケーブルが正しく接続されていますか。
- お知らせランプは点灯していますか。
- 音量が小さく(消音)なっていませんか。

(3) FM放送が選局できない

- CATVネットワークからのケーブルが正しく接続されていますか。
- 音量が小さく(消音)なっていませんか。
- FM放送が放送されていますか。

(4) 再生できない

- 1~5ランプ(再生件番)は点滅していますか。
- 音量が小さく(消音)なっていませんか。

(5) ランプの表示がおかしい

- 下表にて動作を確認ください。

メモ

これらの処置をしても正常に動作しないときは、一度電源プラグを抜くとともに乾電池をはずし、再度電源プラグを差し込み乾電池をセットします。その上でもう一度確認を行ってください。

ランプ表示		動作
緊急ランプ	点滅	緊急放送受信中です。異常ではありません。
電源ランプ	点灯	電源が正しく入っています。
	ゆっくり点滅	乾電池がセットされていないかまたは容量が低下しています。乾電池をセットまたは交換してください。
お知らせランプ	点灯	告知放送受信中です。異常ではありません。
	ゆっくり点滅	未再生の放送があります。異常ではありません。
	ふつつ点滅	CATVケーブルが接続されていません。正しく接続されているか確認してください。またケーブル断線の可能性がありますので、ご加入のCATV局または放送センターへご連絡ください。
消音ランプ	点灯	消音ONです。異常ではありません。
1~8ランプ	点灯	FM放送の受信中です。選局したチャンネルが点灯します。また消音ボタン・音量ボタンを操作したときに音量の現在設定値を表示します。
	順次点灯	放送センターから本機に必要なデータをダウンロードしています。異常ではありません。
	ふつつ点滅	録音された放送の再生中です。再生している放送の件番が点滅して、録音の総件数が点灯します。異常ではありません。
	速い点滅	機器内部の異常です。 1~4ランプが1個あるいは複数点滅します。ご加入のCATV局または放送センターへご連絡ください。
その他のランプ表示		機器内部の異常の可能性があります。ご加入のCATV局または放送センターへご連絡ください。

それでも正常に動作しないときは、ご加入のCATV局または放送センターへご連絡ください。

第5章 仕様

(1) 製品仕様

□製品名	告知放送端末
□型式	AFM-400,410
□定格	
・ 受信周波数	(MHz) 70～90
・ 受信方式	モノラルFM
・ 入力レベル範囲※ ¹	(dBμV) 40 ～ 80
・ 入出力インピーダンス	(Ω) 75 (F形接座)
・ 挿入損失※ ²	(dB) 3 (70 ～ 770MHz)
(CATV IN～CATV OUT)	5 (770 ～ 2602MHz)
・ 最大音声出力	(W) 1 (電池動作時は0.5W)
・ SP端子出力レベル	(dBV) -10 (600Ω 3.5φステレオミニジャック)
・ 録音時間※ ³	約10分
・ 録音件数※ ³	3件もしくは5件 (仕様による)
・ 電源バックアップ時間	待機時約8時間以上、動作時約4時間以上 (使用する乾電池の性能により変わります)
・ ACアダプター	DC9V 400mA
・ 乾電池	単三形 4本
・ 消費電力	5W以下
・ 使用温度・湿度条件	0 ～ 40℃ / 20 ～ 80%
・ 外形寸法	(mm) 148W×210H×44.5D (突起部含む)
・ 質量	(kg) 約1

※¹ AFM-4□□Cモデルの入力レベル範囲は30 ～ 80dBμVです。

※² AFM-4□□CモデルにCATV OUT端子はありません。

※³ AFM-400に録音機能はありません。

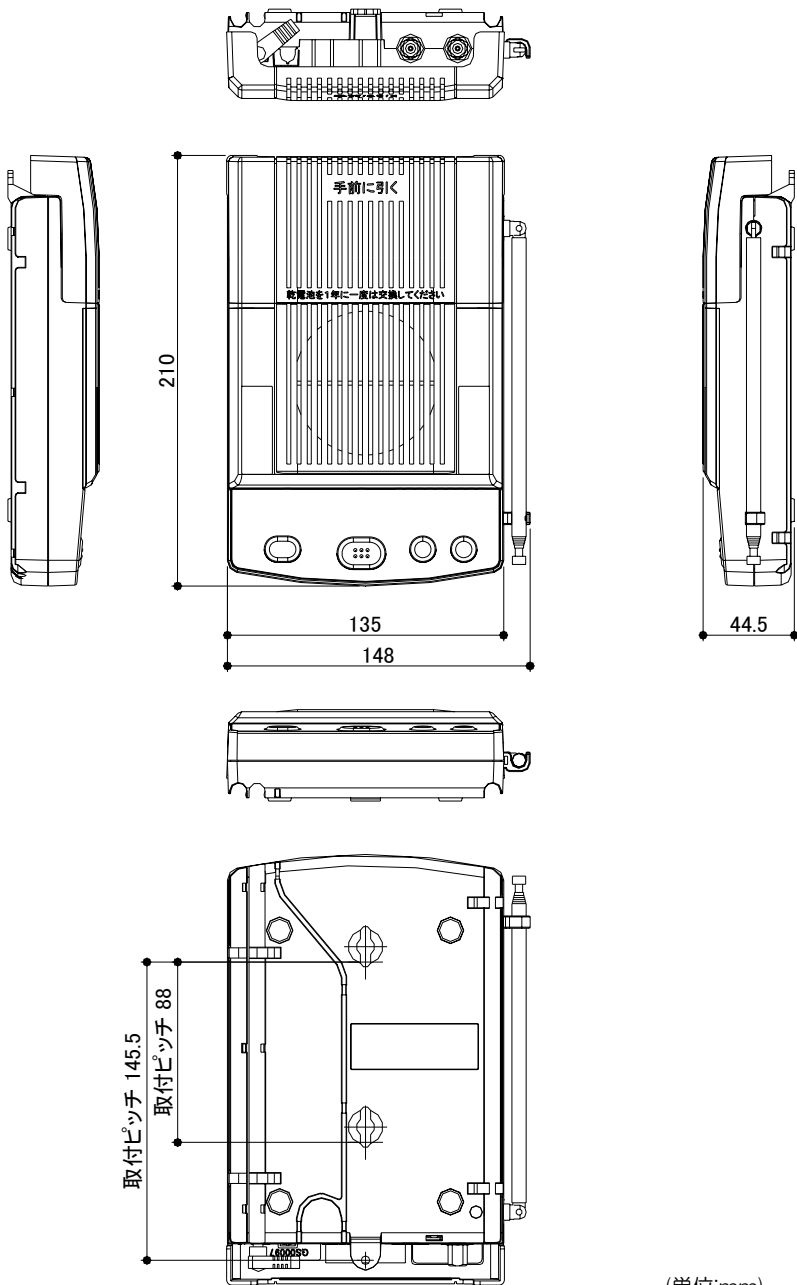
(2) 付属品

- ・ 取扱説明書 (本書)
- ・ 簡易操作説明書
- ・ ACアダプター

(3) 別売品

- ・ 壁掛け用取付ねじ・・・ねじ頭径7ミリ以下、ねじ径4～5ミリ (ねじ長さは壁面材質による)
- ・ ケーブル結束バンド・・・頭口5ミリ以下、幅4ミリ以下 (バンドウイット製PLT-1Mを推奨)
(タイラップ)
- ・ 乾電池・・・・・・・・・・単三形 4本
- ・ 75オームダミー抵抗

(4) 外形図



(単位:mm)

お問い合わせ先

製造元：シンクレイヤ株式会社



SYNCLAYER
MAKING POTENTIAL A REALITY

PRINTED IN JAPAN